

Build Live Tokyo 2010 課題事前公開概要

実務クラス、学生クラス共通

2010年9月30日

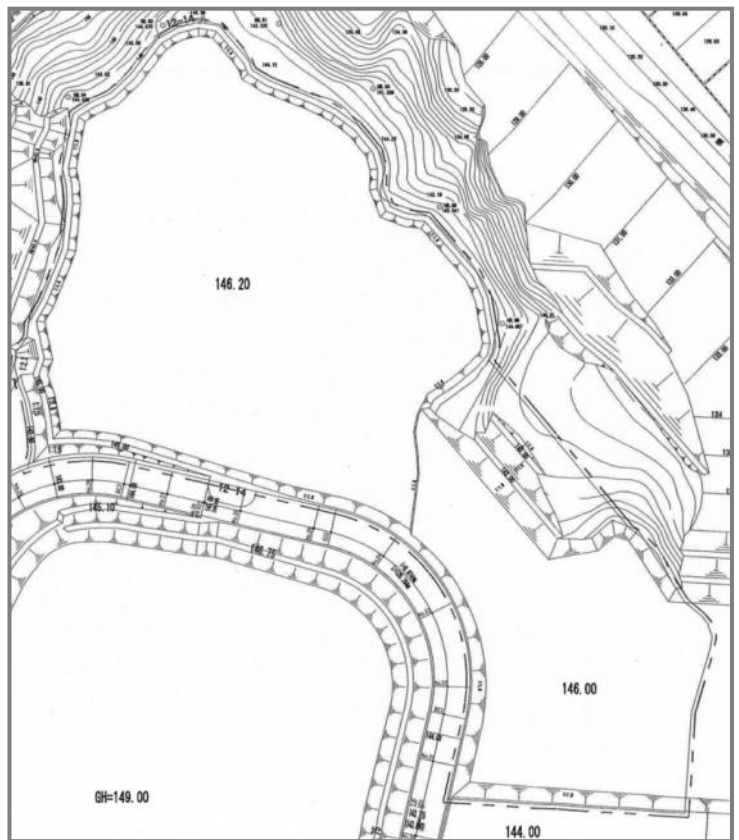
Build Live Tokyo 2010 の課題について、事前公開する概要情報です。概要情報は、実務クラス、学生クラスに共通です。

Build Live Tokyo 2010 の情報は、公式 Blog (<http://bltokyo2010.seesaa.net/>) にて順次公開しますので、参照してください。

1. 敷地

本所在地: 東京都八王子市七国一丁目 30

※競技に使用する 3 次元敷地モデルは、
10/4 頃公開予定



2. 全体コンセプト

八王子みなみのシティは東京都長期計画および八王子市基本構想・基本計画等に基づき、「都市の自立性の向上」と「緑豊かな自然と調和のとれた市街地の形成」を図るため、都市再生機構が土地区画整理事業（南八王子土地区画整理事業）により整備を進めています。

誘致施設等用地（計画敷地は、八王子みなみのシティ地区の「誘致施設等用地」です）

この用地は、「八王子・立川・多摩業務核都市基本構想」（平成14年東京都）により業務施設集積地区に位置付けられています。ここでは、複合多機能都市の形成をめざし、企業の研究所・研修所の立地をはじめ、生産機能を持った施設等、多様な施設の立地を図ります。

（都市整理機構パンフレットより）

3. 施設内容、規模など

「人が集い」、「メディア芸術に触れ」、「子供たちの創造力を育む」場となる施設、「メディア芸術センター」（以降、センター）の建設を計画する。

- センターは、以下の機能を有する。

収集・保存・修復、展示、調査研究、情報収集・提供、教育普及・人材育成、近隣住民との連携

- 配置する施設と所要スペース

- 全体の床面積は、〈開始時公開〉㎡とし、下表に示す主要施設を設ける。
- 区分内の部屋割りは提案者に委ねる。複数棟での計画も可とする。
- 廊下、便所、機械室、シャフトなどは提案者に委ねる。

区分	用途	面積(㎡)	説明
展示関連施設	収蔵庫	〈開始時公開〉	メディア芸術作品の収蔵に適した環境の収蔵施設とする。面積には、収蔵品の修復などのスペースを含む。
	展示室	〃	常設展示、企画展示、貸出しなどを複数同時開催でき、展示規模・内容に弾力的に対応可能とする。所要面積には、準備室等の展示支援スペースを含む。
	上映ホール	〃	上映・各種催事に使用でき、字幕・副音声に対応した設備を準備する。
	ライブラリー	〃	インターネット検索コーナー、図書閲覧等に使用するスペースで、図書等の保管スペースを含む。
	搬入・搬出場	〃	大型作品の搬入・搬出に対応できる。
研究・会議・事務	教育・研究	〃	研究者の研究室、工房、ワークショップ等に利用できるスペースを準備する。
	会議室・研修室	〃	研究者等が様々な用途に使えるように配慮する。
	事務室	〃	事業部門、管理部門等
その他	〈開始時公開〉	〃	〈開始時公開〉
屋外	公園	〃	周辺緑地と調和し、人が集える公園とする。
	駐車場	〃	一般来訪者用、作品の搬入・搬出用

注意:上記は参考情報です。Build Live Tokyo 2010 の課題では、上記の用途が全て指示されるとは限らない。課題の所要スペースの用途及び面積は競技開始時に指示される。

- 計画時の留意事項

- 境問題への配慮を重視した施設とする。
- ユニバーサルデザインとする（外国人、障がい者、高齢者等に配慮）
- 情報ネットワーク環境の充実した施設とする
- センター内常駐者、入場者、作品の搬入・搬出動線、エレベータ、作業スペースに留意する。

4. 法規

建築基準法および当敷地に適用される建築関連法規・条例に従うこと。

- 用途地域 準工業地域
- 容積率限度 200%
- 建蔽率限度 60%。地区計画により 40%（ただし、面積が 1ha 未満の建築物の敷地については 50%）
- 地区計画 南八王子地区地区計画（ただし「建築物等の用途の制限」の「9 劇場、映画館、演芸場又は観覧場」は免除）

本課題の作成に当たり、文化庁ホームページで公開されている「国立メディア芸術総合センター（仮称）基本計画（平成 21 年 8 月）」を参考とし、引用しました。

本課題は Build Live Tokyo 2010 に向けた仮想のものであり、実在する敷地の計画とは無関係です。

連絡先

IAI 日本 事務局 <http://www.iai-japan.jp/>

Build Live 事務局

mail : BuildLive@iai-japan.jp

※Build Live は IAI 日本の登録商標です